



原子力産業新聞

2011年3月24日
 平成23年(第2567号)
 毎週木曜日発行
 購読料1年前分金(消費税、国内送料込)
 会費 9,500円(1部220円)
 非会費 15,000円(1部350円)
 (当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区新橋2丁目1番3号(ヒューリック新橋ビル) 郵便振替 00150-5-5895
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

福島第一 通電可能まで復旧

3号機中央操作室に照明点灯

通電試験を実施中 冷却の海水注入は続行

東京電力の福島第一原子力発電所では、自衛隊などによる使用済み燃料プールへの海水注入を続ける一方、外部からの仮設電源ケーブルがプラントに接続され、1号機6号全号機に通電可能な状況になった。各電気機器の通電試験などを行い、今後、復旧作業を急ぐ。3号機では二十二日二十時四十五分に中央操作室の照明が点灯した。5、6号機もすべて外部電源に切り替えが完了し、1号機についても原子炉圧力容器への注水ラインに、「給水ライン」が追加された。政府は二十一日、第十三回東北地方太平洋沖地震緊急対策本部と第十一回原子力災害対策本部会議の合同会議を首相官邸で開き、菅直人首相は挨拶の中で、「危機的状況を脱する光明が見えてきた」と述べ、関係者の懸命の努力により、緊急を要する最悪の状況からは、少しではあるが脱しつつあるとの認識を示した。

政府による「原子力緊急事態宣言」発令から六日経過した十七日朝、福島第一では、前日に原子炉建屋からの白煙大噴出のあった3号機に、陸上自衛隊ヘリから放水開始、ヘリからの計四回の放水に続き、これまでに、自衛隊の消防車、警察機動隊の特殊放水車、米軍高圧放水車、東京消防庁のハイパーレスキュー隊などによる地上からの放

業では、4号機でも自衛隊や米軍提供の消防車の他、二十二日には、建築用コンクリートポンプ車による放水も行われた。電源復旧に関しては、いずれも二十日に冷温停止となった5、6号機が二十一、二十二日にそれぞれ、非常用ディーゼル発電機から外部電源に切り替えた。2号機では二十一日、4号機では二十二日にいずれも受電完了、二十一日に灰色がかった発煙があり、事態が案じられた3号機も二十二日夜、中央操作室の照明点灯にまで回復した。2号機から受電する1号機でも機器の確認が進められている。大地震発生時に停止中だった4号機を除き、原子炉に燃料が装荷されている1〜3号機では、冷温停止状態とすることが求められており、海水注入が実施されている。

供給については、「原子力政策については、どうしていかんというところについては、いまのことを対応していかねばならない」と述べ、新規原子力立地についても、いま政府の関係者は、福島第一の終息に向けて全力を挙げている。その方向がはっきりするまでは、それ以外のものについては、前に進めることはあり得ない」と強調した。記者が「最悪のシナリオとはどういふものかを考えているか」と問うたのに対し、官房長官は、「いまの状況から、より悪い状態になることを食い止める努力が、一定の効果を上げている」との認識を示した。

枝野官房長官は二十日午後の会見で、福島第一原子力発電所の使用済み燃料プールへの海水注水と電源の復旧作業の両面から、全力で取り組んでいる、と説明した。同発電所の今後について聞かれ、「政府として断定的なことは言えないが、原子炉の客観的な状況として、再び稼働でききりしている」と述べた。

「光明 見えてきた」

菅首相(写真中央)

菅首相(写真中央)は二十一日の合同会議の冒頭挨拶で、福島第一原子力発電所の現況について、「本当に関係者の命がけの努力が、少しずつ状況を前進させている」との認識を示した。



菅首相は今回の福島原発事故を、これまでの歴史的事故に匹敵する大きな事故と捉

え、「何としても、大きな被害をもたらさないところで食い止めていきたい」と語り、これからの自衛隊、東京電力、東京消防庁などの消防関係者など、「本当に大きな力を、さらにお貸しいただきたい」と切望した。

先のこと検討は時期尚早

枝野官房長官

枝野幸男官房長官は十八日午後の定例記者会見で、東北地方太平洋沖地震が発生して一週間を振り返り、亡くなった方々の冥福と、被災された方々への見舞いを述べたあと、「全力を挙げて、状況を少しでも改善していくために、さらに全力を挙げていきたい」と改めて決意を語った。

菅首相は今回の福島原発事故を、これまでの歴史的事故に匹敵する大きな事故と捉

え、「何としても、大きな被害をもたらさないところで食い止めていきたい」と語り、これからの自衛隊、東京電力、東京消防庁などの消防関係者など、「本当に大きな力を、さらにお貸しいただきたい」と切望した。

この一週間の出来事

(17日(木)～23日(水))

- 東日本大地震死者6,539人超で戦後最悪(18日)
- 武藤東電副社長が本社で記者会見(21日)
- 東京都区部でも水道の乳児摂取を制限(23日)

原産新聞の紙面から

国内ニュース

- 天野事務局長が「世界と情報共有を」(2面)
- 新潟県知事らが「安全万全を」要請(2面)
- 福島第一の双葉町民が埼玉県に避難(4面)
- コラム論人「人間の営み」石田寛人氏(4面)

海外ニュース

- スウェーデンで処分場の建設認可申請(3面)
- UAEが初の原子力発電所の起工式(3面)
- 中国が新規建設計画の承認を一時停止(3面)



Over 40 years of sustainable energy

Urenco
enriching the future

40年以上の実績をふまえ、濃縮分野のリーディング・サプライヤーとしてグローバルな供給に中核的な役割を果たしています。

誠実さとサービス精神を第一に、拡大する濃縮需要に対して安定的な供給をお約束致します。

www.urengo.com

